

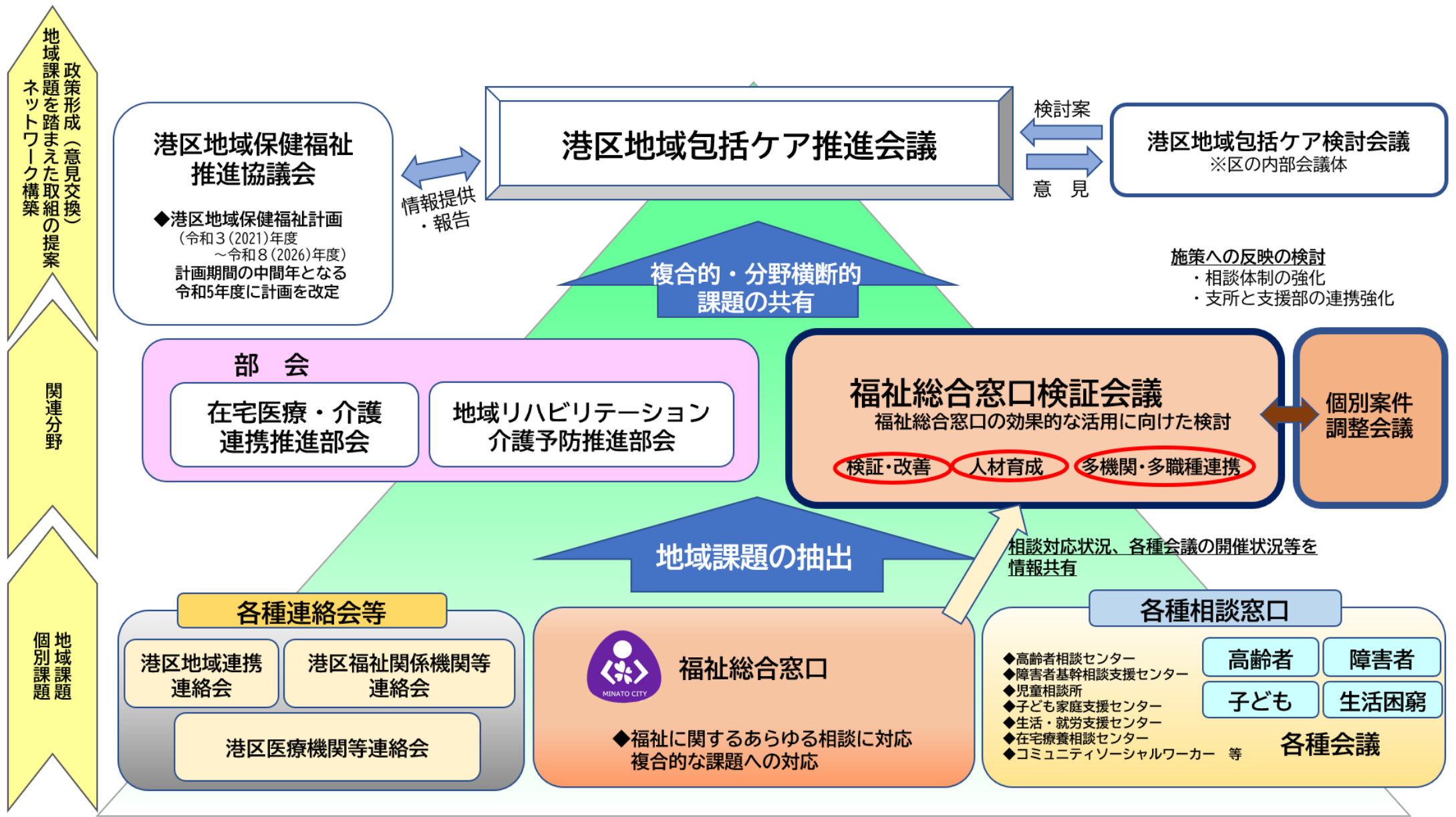
令和5年度 港区地域包括ケアの推進に関する 事業報告について

港区保健福祉支援部保健福祉課
港区保健福祉支援部高齢者支援課
港区みなと保健所地域医療連携担当

【掲載内容】

- 1 港区の地域包括ケアの推進体制について(保健福祉課)
- 2 令和5年度 港区の地域包括ケアの推進の取組について(保健福祉課)
- 3 令和5年度 各部会の実施報告について
 - ◎港区地域包括ケア推進会議 在宅医療・介護連携推進部会について
(保健福祉課)
 - ◎港区地域包括ケア推進会議 地域リハビリテーション・介護予防推進部会について
(みなと保健所地域医療連携担当)
- 4 多職種連携の推進について(保健福祉課)
- 5 認知症施策について(高齢者支援課)
- 6 生活支援体制整備事業について(高齢者支援課)

1 港区の地域包括ケアの推進体制について(保健福祉課)



2 令和5年度 港区の地域包括ケアの推進の取組について(保健福祉課)



3 令和5年度 各部会の実施報告について

◎港区地域包括ケア推進会議 在宅医療・介護連携推進部会について(保健福祉課)

在宅医療・介護連携推進部会では、港区の在宅医療及び介護に関する連携の推進のため、各団体等の情報共有や課題の共有、ガイドブックの作成等について検討しています。

(1) 令和5年度 開催状況

第1回

開催日	令和5年8月29日(火) (リモート・参集併用)
議題	1 港区在宅療養相談センターの運営状況等について 2 多職種連携の推進等について 3 各種連絡会等の報告について 4 意見交換(在宅療養者の生活の場における医療と介護の連携の課題)
内容	在宅療養者の生活の場において医療と介護の連携した対応が求められる場面として、「日常の療養支援」「入退院支援」「急変時の対応」「看取り」の4つを挙げ、日々の活動の中で感じている医療と介護の連携に関する課題について、意見交換を行いました。また、地域連携連絡会で挙げた地域課題(高層マンションのセキュリティ問題について)の報告を行いました。
意見交換で挙げた主な課題	①日常の療養支援における情報共有(ICT化)について 訪問診療医、訪問看護師、歯科医師、薬剤師、ヘルパーなど、多職種が関わっているケースにおいて、リアルタイムで患者の情報をチーム全体に共有できるツールがあるとよい。 ②介護保険の認定調査について 看取りの段階にある患者について、ケアマネジャーが相談や訪問などで本人のために動いていても、介護保険の認定調査が間に合わず、サービスが全額自費負担となることや、ケアマネジャーが報酬を取れないことがある。

第2回

開催日	令和6年1月18日（木）（リモート・参集併用）
議 題	<ol style="list-style-type: none"> 1 各種事業報告等について 2 第1回在宅医療・介護連携推進部会で挙げた地域課題について 3 今後の取組について
内 容	<p>以下の報告と意見交換を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・在宅療養後方支援病床の運用実績や各種連絡会等の実施報告。 ・第1回会議の意見交換で挙げた課題①日常の療養支援における情報共有（ICT化）について及び②介護保険の認定調査について、区のと組と現状を報告し、意見交換（資料2-2）。 ・地域連携連絡会で挙げた課題③高層マンションのセキュリティ問題についての調査結果の報告（資料2-2）。 ・令和6年度に予定している港区在宅療養ガイドブックの改訂や、今後のACP等の普及の取組について、区としてどう取り組んでいくべきかについての意見交換。

（2）港区地域包括ケア推進会議 在宅医療・介護連携推進部会員名簿 令和5年度第2回開催時点（敬称略）

氏 名	職 名 等
安田 淳 ◎	一般社団法人東京都港区医師会 常務理事
菰池 信彦	一般社団法人東京都港区医師会 担当理事
華岡 眞幸	公益社団法人東京都港区芝歯科医師会 副会長
兼松 由美子	公益社団法人東京都港区麻布赤坂歯科医師会 副会長
青木 美子	一般社団法人東京都港区薬剤師会 副会長
福田 恵子	独立行政法人地域医療機能推進機構 東京高輪病院 医療連携・患者支援センター 社会福祉士
岩淵 美和子	医療法人財団厚生会 古川橋病院 看護部長
享保 奈々	港区介護事業者連絡協議会 居宅介護支援部会長
南塚 恵	港区立がん在宅緩和ケア支援センター 副施設長
内藤 麻里	高輪地区高齢者相談センター（地域包括支援センター白金の森） 管理者
高嶋 慶一	港区社会福祉協議会 事務局次長

◎会長

◎港区地域包括ケア推進会議 地域リハビリテーション・介護予防推進部会について(みなと保健所地域医療連携担当)

港区地域包括ケア推進会議の下部組織。事務局は、みなと保健所地域医療連携担当になります。
地域リハビリテーション及び介護予防に関する取組の情報共有や関係団体等との連携の推進について検討しています。

(1) 今年度の活動について

新型コロナウイルス感染症により、3年間「医療と介護の合同研修会」を実施することができませんでしたが、新型コロナウイルス感染症5類移行に伴い、安保会長や佐藤委員と連携し、区民講座を実施。約3年ぶりに区中央部リハビリテーション支援センター（東京慈恵会医科大学附属病院）と連携して、アフターコロナにおける運動のきっかけづくりに関する講座を企画しました。

今年度は、活動は下記になります。

1回目：区民講座 令和5年9月20日実施

2回目：港区地域リハビリテーション推進会議 令和6年2月頃（予定）

(2) 令和5年度港区地域包括ケア推進会議 地域リハビリテーション・介護予防推進部会員名簿

◎会長 ○副会長

令和5年度区民講座開催時点（敬称略）

氏名	職名等
安保 雅博 ◎	東京慈恵会医科大学附属病院 副院長、診療部長
腰塚 裕 ○	アットホーム表参道クリニック 整形外科・リハビリテーション科院長
中林 秀夫	みなと整形外科内科クリニック 整形外科・内科院長
白土 貴史	独立行政法人地域医療機能推進機構 東京高輪病院 整形外科部長
佐藤 志穂子 ○	麻布地区高齢者相談センター(南麻布地域包括支援センター) 社会福祉士
小宮山 由香	88訪問看護ステーション 管理者（訪問看護）
尾芝 徳一	介護予防総合センター センター長
大石 真由美	居宅介護支援事業所アステイジ 代表取締役（居宅介護支援）

4 多職種連携の推進について(保健福祉課)

(1) 医療機関・介護事業者検索システム

医療と介護の連携を目的とし、既に稼働している介護事業者情報検索システムに医療機関等（病院、診療所、歯科診療所、薬局）の情報を追加します。

① 運用開始日<医療機関等情報公開開始日> 令和6年1月29日(月)

② 医療機関掲載件数 **779件**（送付件数 1663件、返却率47%）

	病院・診療所	歯科		薬局
送付件数合計	837件	615件		211件
返却件数(割合)	374件(45%)	297件(48%)		108件(51%)
返却件数の内、 三師会会員数	医師会員 209件	芝歯科医師会員 105件	麻布赤坂歯科医師会員 76件	薬剤師会員 73件
三師会会員割合	56%	35%	26%	68%

③ ID・PWの送付 令和6年1月29日(月)

※関係者ページのログインID/パスワード通知書を掲載医療機関・薬局へ送付します。

★9～10月に実施した調査の回答内容を基に掲載します。

★回答期限を過ぎて回答いただいた場合も順次対応します。

④ 公開後の運用

・変更や廃業があった場合は直接事業者が連絡を受け付け、システムを更新します。

・新規開業の場合は年1回の郵送調査にて調査を行い追加します。

(FAXの利用が可能な場合は随時調査票の送付が可能です。)

(2) みなと医療BOOK 2024年版

地域の医療機関や薬局の案内に加え、区の地域包括ケア推進の取組や在宅医療、感染予防、母子保健、障害者、高齢者、防災等の情報を掲載した冊子です。

港区医師会と協定を締結し、港区医師会主動のもと合同で作成し、2024年版は令和6年1月末に発行予定です。



(3) 支援者のための関係機関連携ガイドブック

多機関・多職種連携を円滑に図れるよう、支援者同士のより良い関係性の構築に向け、連携のポイント等をまとめたガイドブックです（初版：令和4年8月発行）。令和5年度に改訂版を発行します。

～改訂における区としての考え方～

(1) 改訂目的

港区の地域包括ケアにおける多機関・多職種連携が更に円滑なものとなるよう、新たな事業や制度改正に伴う情報の更新、医療・介護・福祉関係者からの意見を踏まえ、新しい連携先（例：ヤングケアラー支援コーディネーター）の掲載や、権利擁護支援について新たに掲載するなど、支援者がより活用できる内容とします。

(2) 改訂時期 令和6年3月

(3) 改訂内容 ●新たな事業・窓口の追加 ●QRコード・図・チラシの添付 ●情報・ページ構成の更新

①新事業の追加

- ・重層的支援体制整備事業の追加
→令和7年度の体制構築に向けた重層的支援体制整備事業の総論やイメージを掲載する。
- ・権利擁護支援の追加
→第二期成年後見制度利用促進基本計画における「権利擁護支援」のイメージを掲載する。
- ・後方支援病床の追加
- ・ヤングケアラー支援コーディネーターの追加
→令和5年4月に配置した「ヤングケアラー支援コーディネーター」について掲載する。

②コラムの作成

- ・看取りに関係するご遺族支援コーナー
- ・家族支援に関係する地域生活支援拠点事業

③港区の窓口等一覧の追加

- ・医療相談窓口（医療に関する相談）
- ・港区子ども家庭相談ダイヤル（子ども・子育てに関する総合相談）
- ・医療機関・介護事業者検索システム

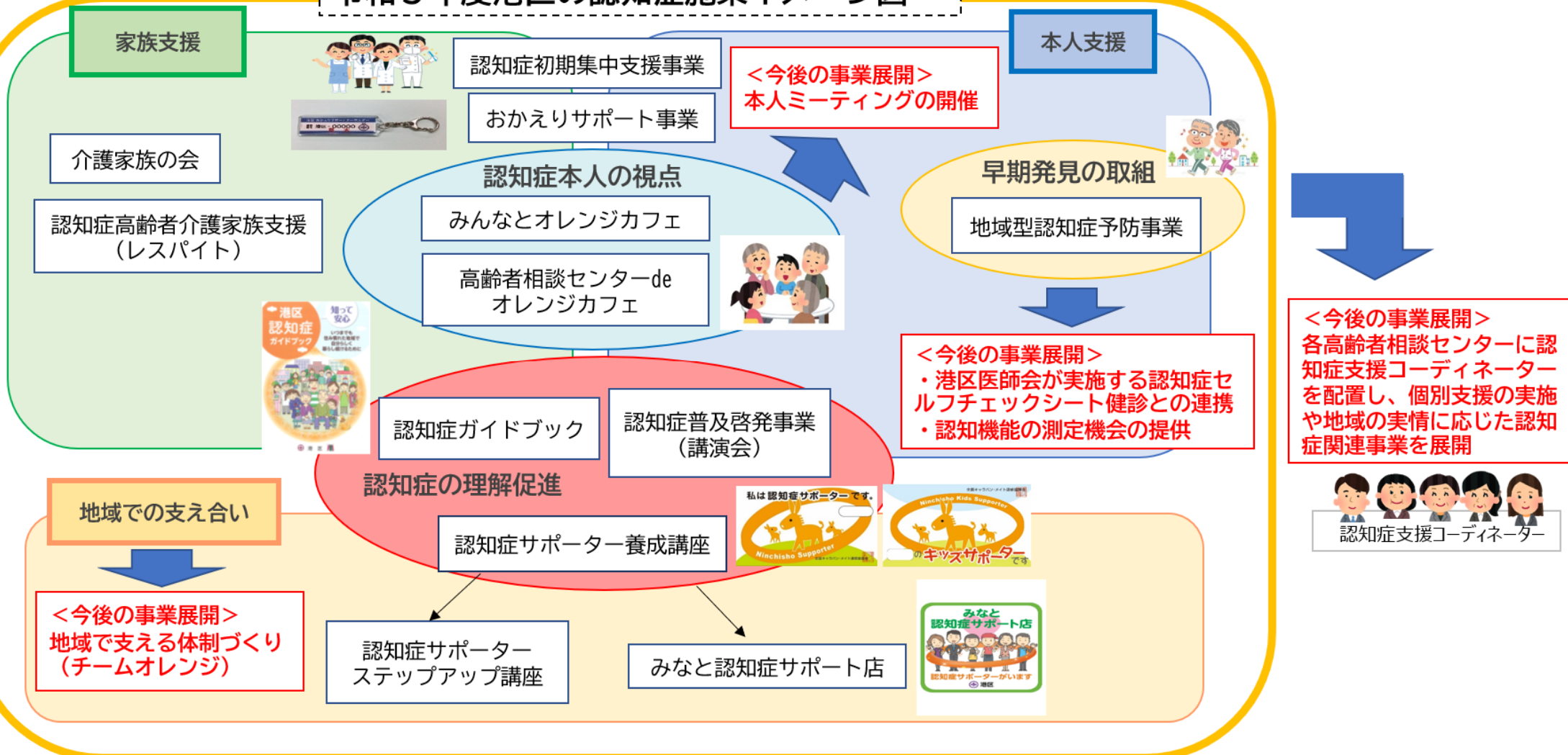
●工夫した点

- ・各項目について即座に情報検索できるよう、QRコードの添付
- ・相談窓口の紹介ページに各施設の連絡先の掲載
- ・各章ごとの体裁やデザインの統一化

5 認知症施策について(高齢者支援課)

認知症の人が尊厳を保持しつつ希望をもって暮らすことができる共生社会の実現に向け、「本人支援」、「家族支援」、「地域での支え合い」の施策を展開し、認知症の理解促進を図っています。

令和5年度港区の認知症施策イメージ図



(1) 認知症初期集中支援事業

認知症の人及びその家族に対する初期支援を包括的かつ集中的に行うため、認知症初期集中支援チームを設置し、認知症の早期診断および早期対応に向けた支援を行うことにより、可能な限り住み慣れた地域で生活を続けることができるよう支援しています。

認知症初期集中支援チーム

東京都済生会中央病院に配置。
認知症の人やその家族をチーム員が訪問し、継続的なサービス等、今後につなげていくための初期支援を行う。

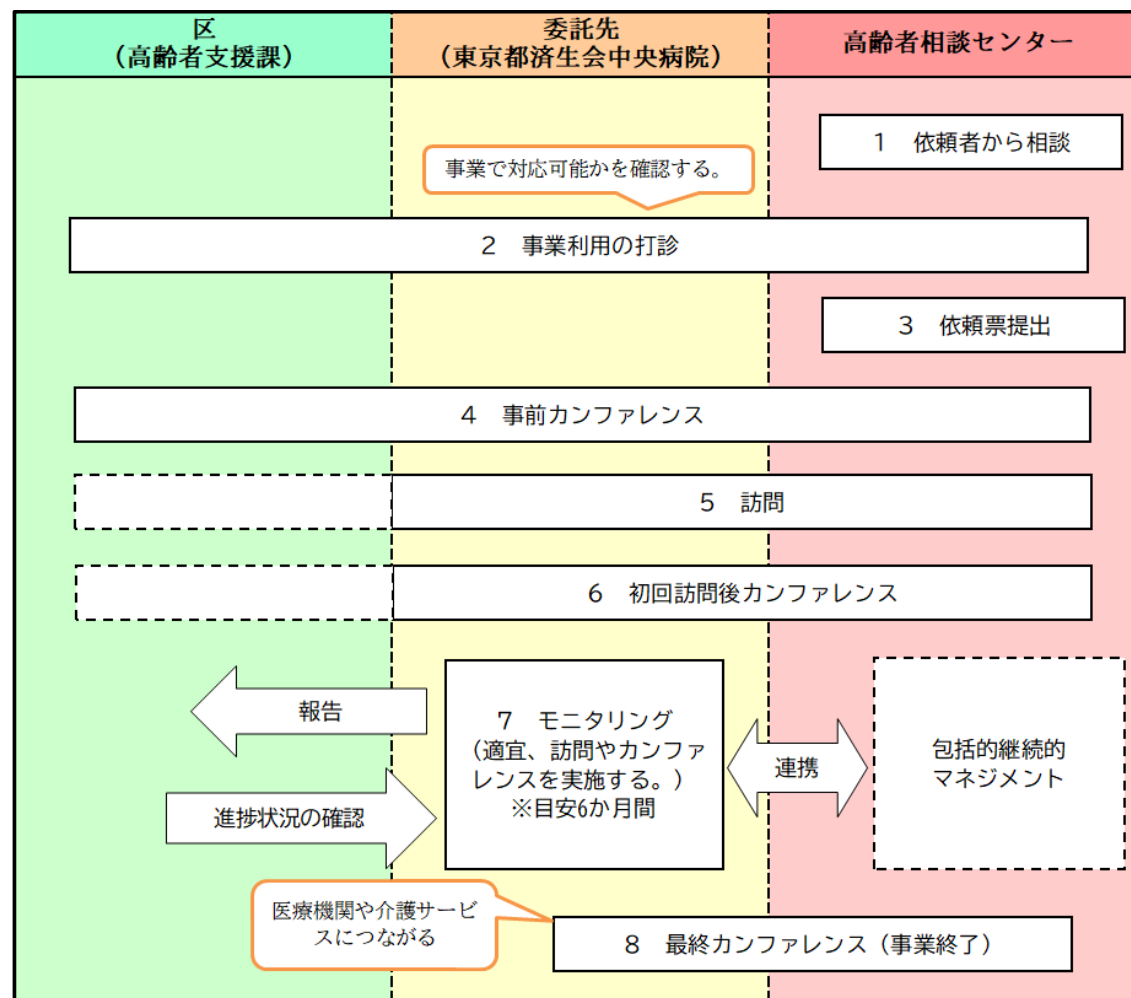
認知症初期集中支援チームを構成する職種

医師、保健師、看護師、作業療法士、
歯科衛生士、精神保健福祉士、社会福祉士、
介護福祉士等



認知症初期集中支援チームパンフレット

【支援フロー図】



【実績】（令和5年12月末現在）

年度	元	2	3	4	5
支援者数（人）	12	4	4	7	4
訪問支援延件数（件）	13	4	5	4	1
相談延件数（件）	146	27	38	30	10

＜ケース事例＞ 区内90歳代、女性、単身世帯、介護サービス未申請

- ・元介護予防リーダーで以前から地域活動を積極的に行っていた。
- ・いきいきプラザ職員から相談。衣類に汚れが目立ち食事也十分にとれていないのか痩せてきている。
- ・高齢者相談センターが訪問すると、自宅が物で溢れていて未払いの請求書が溜まっており認知症が進んでいる様子が見受けられるが、本人は「大丈夫。」と言い受診につながらない。
- ・初期集中支援チームが訪問し、定期受診につなげる。
- ・現在は成年後見人がつき、施設に入所した。

（2）みなと認知症サポート店認定制度

認知症の人が安心して利用できる環境整備や支援に取り組む店舗や事業所等を「みなと認知症サポート店」として認定します。令和5年度12月末現在で83店舗を認定しています。

みなと認知症サポート店とは…

認知症に関する知識を生かし、接客時の気遣い・気配り等の適切な対応や見守り、認知症への理解を促す取組を行う店舗や事業所等です。認知症の人でも安心して利用できます。

【実績】（令和5年12月末現在）

年度	3	4	5	合計
認定店舗数	29	13	41	83

【認定店舗の例】

- ・金融機関（銀行・信用金庫・郵便局等）
- ・薬局
- ・飲食店
- ・商店



認定ステッカー



みなと認知症サポート店認定制度チラシ

(3) みんなとオレンジカフェ

港区在住の認知症の人やそのご家族、認知症予防に関心のある人のためのカフェです。カフェでは認知症専門医による講話や相談、認知症予防プログラムなどを行っています。毎月5か所で開催しており、どの会場でも参加ができて入退室も自由です。

毎月の定例カフェ以外にも出張カフェ（年5回）や音楽交流会（年3回）、講演会（年2回）を開催しています。オレンジカフェに参加していただけるボランティアの養成や、ボランティアのフォローアップ研修も実施しています。



カフェの様子



認知症予防プログラムの様子



認知症専門医の講話の様子



みんなとオレンジカフェ
パンフレット

【令和5年度実績（通常カフェ）】（令和5年12月末現在）

地区	芝	麻布	赤坂	高輪	芝浦港南	合計
実施回（回）	8	8	8	8	8	40
参加者（人）	86	122	75	149	106	538

出張カフェの実績

- 6/24（土） 神応いきいきプラザ 14名参加
- 8/2（水） 港南いきいきプラザ 13名参加
- 12/9（土） 芝の家 16名参加
- 2/3（土） 国際医療福祉大学（予定）
- 3/9（土） きのこ南麻布 地域交流スペース（予定）

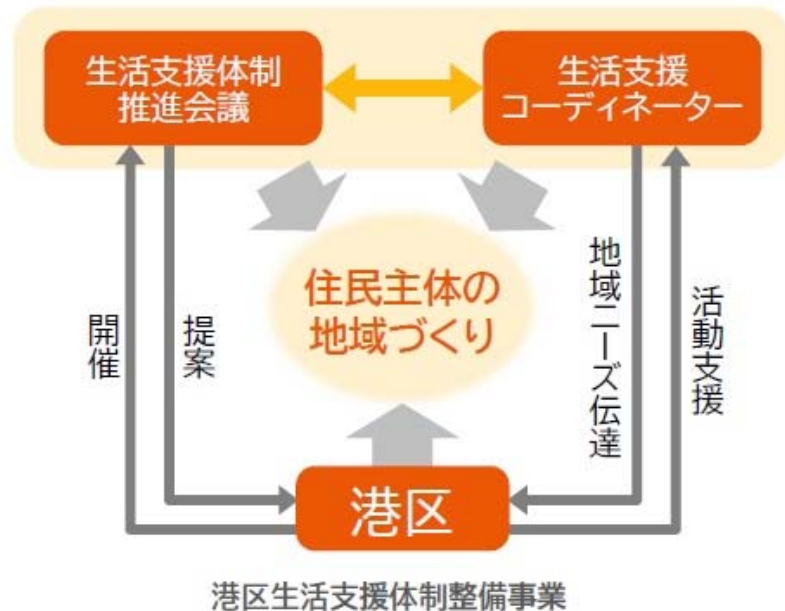
6 生活支援体制整備事業について(高齢者支援課)

地域で高齢者の在宅生活を支えるために、介護保険制度でのサービスのみならず、公的な福祉サービスや民間企業のサービス、さらに、地域の支え合いで行われるサービスなど、さまざまな実施主体の連携や情報共有及び介護保険外のサービスの活用が重要となります。

港区では「生活支援体制推進会議」の設置や「生活支援コーディネーター」の配置等により、生活支援の体制を整備する事業を実施しています。

(1) 生活支援コーディネーターとは

地域の支え合い活動を広める推進役です。地域のみなさんや関係機関と一緒に、高齢者の支え合い活動を広げることやサービスの開発に向けて検討し、取り組んでいます。



(2) 港区高齢者地域活動情報サイト「スタみな！」

高齢者の方が参加できる教室や地域の高齢者が中心になって活動するサロン、困り事の相談先などの情報を検索できる高齢者地域活動情報サイト「スタみな！」を令和4年3月に開設し、運用しています。

フリーワードや活動場所で検索ができるため、一人ひとりの希望や状況にあった地域活動が探しやすくなっています。毎月3回発行の「広報みなと」に掲載されている高齢者に有用な情報をトップページのお知らせ覧に掲載しています。

【カテゴリー掲載数】	計	678件
交流の場・通いの場・社会参加		476件
ボランティア活動・しごと		100件
利用できる活動場所		57件
生活支援（食事・買い物・入浴等）		44件
高齢者や家族の相談・支援		24件
情報紙・マップ・カレンダー		25件

【お知らせ掲載数】 延べ 187件
(令和5年12月末時点)



ホームページトップ画面



(3) オンラインに関する取組

新型コロナウイルス感染症を契機として、高齢者がオンラインでつながることを支援するために、令和5年度もさまざまな取組を行いました。

① 「スマホ・タブレットマイスター」養成講座の開催 「スマホ・タブレットマイスター」の派遣

高齢者にスマホやタブレットの使い方を教えるコツを学び、「マイスター」としてボランティアで教えに行きます。

スマホ・タブレットマイスターをサロンや町会、住民グループに派遣して行うスマホの使い方講座や相談会を開催 ⇒ いつもの場所に来てもらって気軽に教えてもらえるため、大変好評です。マイスターとして活躍する高齢者の活動の場にもなっています。

スマホ・タブレットマイスター実人数 16人

【令和5年4月～12月実績】

派遣回数	19回
マイスター派遣延人数	59人
講座・相談会参加延人数	139人

② 企業によるオンラインツール講座の開催

(株)JALインフォテックに協力をいただき、「プロに学ぶ！オンラインツール講座」を開催。チャレンジコミュニティ・クラブメンバーはテーマ設定や内容、当日の運営にも参画しています。

サロんに、町会に、お友達グループに… スマホ・タブレットマイスターが伺います。

スマホ・タブレットマイスターが伺います。

スマホの使い方が学べます！

開催条件: ・スマホを教えることができる場所(区内)を用意いただくこと
・ご自分のスマホやタブレットをお持ちいただくこと
・高齢者を主な対象として、3人以上にご参加いただくこと
※区役所または友人同好などで集まったグループでも開催可能です。
※交通費等の実費を負担いただく場合があります。
※なるべく開催予定の1ヵ月前までにお申し込みください。

申し込み: 電話、メール、またはFAX(申込書に必要事項を記入)で港区社会福祉協議会までお申し込みください。
講座の内容や会場の検討など、なんでもお気軽にご相談ください。

スマホ・タブレットマイスターって？
「スマホ・タブレットマイスター」は主に高齢者を対象に、スマホやタブレットを「わかりやすく」教える人たちです。「スマホやタブレットを怖がらずに使える」という思いで、基本的なことから親切に丁寧に教えています。

社会福祉法人 港区社会福祉協議会 地域福祉係
TEL: 03-6230-0281 FAX: 03-6230-0285
E-mail: chiki@minato-cswa.net



プロに学ぶ！
オンラインツール講座
2023

日時	テーマ	対象
11/16(木) 13:30 ～ 15:40	IT(スマホやタブレット)を安全に利用するには？ IT(スマホやタブレット)で旅行をより楽しく！	スマホ初心者向け
11/17(金) 13:30 ～ 15:40	セキュリティ・情報管理術 デジタル整理術	スマホを普段使っている人向け

講師: (株)JALインフォテック ネットワークソリューション部
(株)オプテージ
会場: 東京都港区赤坂2-1-1 (東33ビル)または Zoom
定員: (会場)各30人 (オンライン)各70人
申し込み: 11月10日(金)までに電話・FAX・メール(下記)または申し込みフォームにて申し込みください。
申し込みフォームURL: <https://forms.gle/jk7EmPjyhEVb3oc7>

お問い合わせ申し込み
社会福祉法人 港区社会福祉協議会 地域福祉係
TEL: 03-6230-0281 FAX: 03-6230-0285
E-mail: chiki@minato-cswa.net
協力: チャレンジコミュニティクラブ



スマホ・タブレットマイスター派遣のチラシ・相談会の写真

プロに学ぶ！オンラインツール講座 チラシ・写真